

地質情報展 2014 かごしま 「鹿児島島の火山」 展示報告

川辺禎久¹⁾・山元孝広²⁾・下司信夫²⁾・
斎藤元治²⁾・及川輝樹²⁾・古川竜太²⁾

1. はじめに

鹿児島市で行われた「地質情報展2014かごしま」のサブタイトルは「火山がおこなす自然の恵み」でした。鹿児島県には活発な噴煙活動が続ける桜島をはじめ、多くの活火山があります。今回の地質情報展開催中は天候に恵まれず、桜島の全容を見ることはほとんどできませんでしたが、火山灰混じりの雨に降られるなど、スタッフも火山活動の洗礼を少しですが体験できました。

鹿児島県は約800万年前以降現在まで続く火山活動による噴出物に広く覆われ、火山の上に人々の生活が営まれているといっても過言ではありません。今回の地質情報展では、鹿児島県内の火山活動の歴史と最新の噴火に関する情報を、8月の噴火を受けて急遽追加した口永良部島火山噴火の解説を含め、8枚のパネルを作製し展示しました(写真1)。

2. 展示内容と反応

筆者(YK)は鹿児島島出身ですが、地元の意識として、活発な火山活動が続ける桜島のことは火山として認識していても、桜島以外の火山が身近に存在することは案外意識されていません。そこで今回は、鹿児島県の火山活動がいつ始まり、どこにあるのかをまず示すことにしました。鹿児島県全体の地史のパネルでは、「火山活動の時代」として、約800万年前から始まった肥薩・北薩・南薩火山岩類の活動を示し、それ以降の火山活動の変遷を時代ごと3枚の図で表現しました。時代ごとの火山岩分布図は、「20万分の1日本シームレス地質図」から年代と岩石種を指定して作製しました。パネルでは、火山岩やカルデラの分布だけでなく、火山活動に伴って形成された金鉱床の位置も示し、火山活動が恵みももたらしてくれることも表現しました。この火山活動変遷図は、鹿児島県の新第三紀以降の地史を

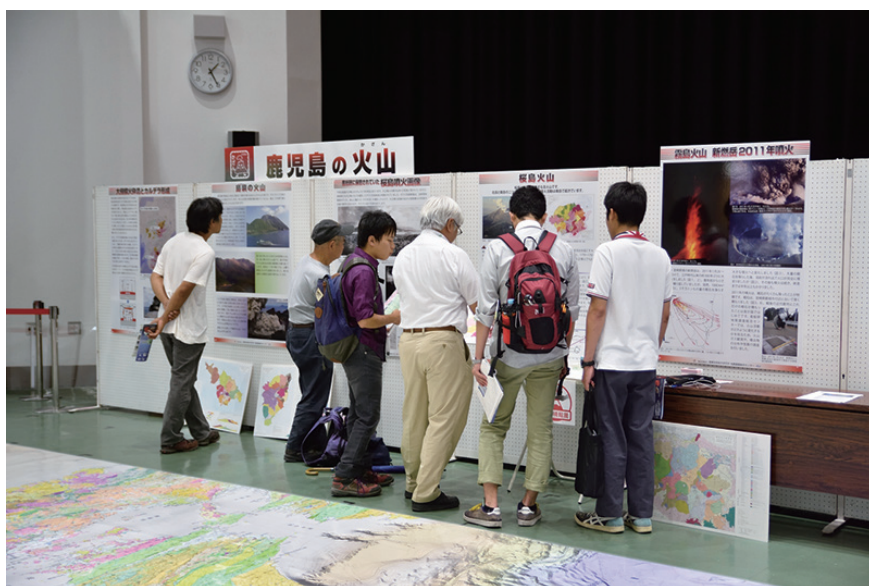


写真1 地質情報展 2014 かごしま での火山展示の様子。

1) 産総研 地質標本館
2) 産総研 活断層・火山研究部門

キーワード：地質情報展, 鹿児島県, 桜島, 活火山, 展示, 火砕流

語る上で解説のベースとなったようで、多くの方が足を止めていました。

最近1万年間に活動した活火山については、8月に噴火した口永良部島噴火速報パネルも含め、計6枚のパネルで解説しました。日本の活火山全体のちょうど1割が鹿児島県内にあることには、多くの方が火山県鹿児島の認識を新たにされていました。しかし最大の関心は、普段目の前で噴火活動を続け、降灰をもたらしている桜島のように、やはり将来の噴火についての関心が高く、桜島周辺の上下変動グラフへの質問が多くありました。また桜島大正噴火からちょうど100年ということもあって、産総研に保管されていた噴火当時の写真にも多くの来場者が足を止めていました。逆に島嶼部の火山や霧島・新燃岳噴火についての関心は事前の想像より少ないようでした。

地元で最近話題になることが多い、大規模火砕流噴火についてもパネルを作製しました。鹿児島県内に広く分布するシラスのことは知っていても、それがカルデラを作ったときの大規模火砕流堆積物であることは、あまり認識されていません。説明すると多くの方が「桜島の火山灰だと思っていた」とおっしゃいます。この噴火が起きた時はまだ桜島はありませんという一様に驚いた様子でした。

3. 興味を持ってもらうために

アンケート回答からは、火山関係の展示は、桜島以外の関心がやや低いという結果になりました。特に島嶼の火山のように、あまりなじみがない火山については興味を持つ

のは難しいと言うこともあるでしょう。また今回は会場で火山について解説する研究者がやや少なく、対応が必ずしも十分できなかったことも要因の一つと考えられます。とはいえ、工夫次第で来場者の興味を引くことは可能と思われます。例えば入戸火砕流の溶結部、非溶結部を並べておくなどの工夫を行った大規模火砕流展示では、親子連れだけでなく多くの一般来場者が実際に触って会話をしたり、解説を聞く様子が見られました。最近シラスの崖も法面工が施され、以前ほど子どもたちがシラスに触れる機会もなくなっていることもあるかと思います。実物に触れる機会を多く作ってあげることが、地質情報展の役割の一つであると強く思いました。また、なにかと災害と結びつけられがちな火山ですが、地熱や金鉱山など、火山活動によってもたらされる恵みとの関連をより示していくことも、地球の営み全体を理解するために必要なことではないかと感じました。

文 献

及川輝樹・西来邦章 (2014) 地質情報展2013みやぎ展示と解説コーナー 東北の火山及び蔵王火山の展示報告～どのように見学者の興味を引く展示をつくるか～。GSJ地質ニュース, 3, 25-26.

KAWANABE Yoshihisa, YAMAMOTO Takahiro, GESHI Nobuo, SAITO Genji, OIKAWA Teruki and FURUKAWA Ryuta (2015) Report of "Volcanoes in Kagoshima" in the Geoscience Exhibition in Kagoshima 2014.

(受付:2014年11月12日)